

下水道展 2026@東京

はじめに

私が備忘のために私の興味で読んだ講演論文の概要と感想を記しておく。今年の下水道展は大体がD X・ドローン・官民連携の展示で、水コンはこれらに加えてD Xとしての台帳システムの高度化の4本柱で似通っていた。

N-1-2-4 金入り設計書の情報公開請求に対する情報提供による本市対応の手法と課題について

名古屋市上下水道局

- ・金入り設計書の情報公開請求の対応は条例に基づく必要があり大変
- ・金入り設計書の公開システムの稼働により行政文章公開請求が R1 の 425 件から R6 は 157 件に減少
- ・R1 は請求の 9 4 % が金入り設計書
- ・どうやらパッケージソフトがある模様
- ・他部局とも共同利用しており R6 の DL 件数は約 8 千件

> 工事発注の多い団体なら業務改善の一手として考える余地がある

S-8-1-6 タイトル忘れた

水 i n g ・中央大学

- ・K P I 設定の上ではK P I 間のトレードオフに注意すべし
- ・K P I は多すぎるとK P I 管理に追われてしまう
- ・P F S 方式は積算体系が確立されている業務には適さない
- ・処理水量あたり電力単価はP F S の候補（ただし、物価上昇をどうするか？kWh あたりの方が良い？）
- ・水質改善も数値化し易く候補となり得る
- ・管路事故件数はコントロール不可の既設リスクがあるため、点検実施率など自発指標が良い

S-8-2-4 海外の管路P P P事業の現場調査による実態分析と日本への示唆

ヴェオリア・ジェネッツ/フジ地中情報株式会社

- ・どうやらフランスでは他会計繰入金禁止されている模様
- ・漏水検知犬がP V Cに有効らしい

N-6-4-1 ダクティル鑄鉄製汚泥圧送管における外面腐食の実態と漏水原因の考察

札幌市下水道河川局

- ・ポリスリーブ被覆の汚泥管が布設後 26 年で漏水
- ・押輪付近のスリーブが埋め戻しの土圧で被覆が破けたと考察
- ・土壌改良のために注入した薬品の腐食性が非常に高かった

> 施工監理上の参考にできる

これらの他に、日本水工設計が耐水化の論文を多く発表している点が目立った。